

作成年月日	令和2年9月7日
作成部局課室名	企画県民部広聴課 健康福祉部高齢政策課

第1回県民モニターアンケート「介護に関する意識」の調査結果

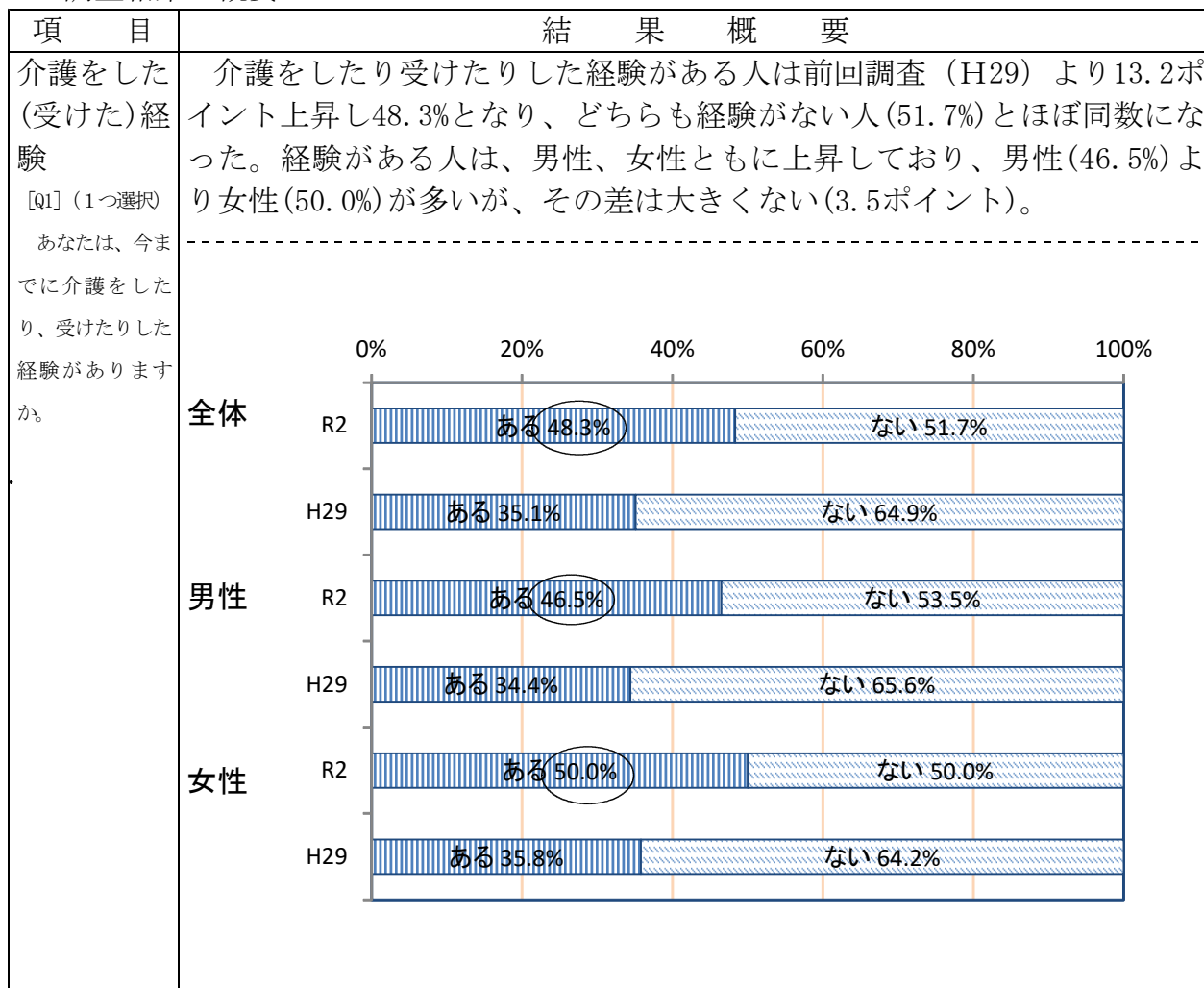
第1回県民モニターアンケート調査「介護に関する意識」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、「兵庫県老人福祉計画（介護保険事業支援計画）」の改定に活用します。

1 調査概要

- (1) 調査対象者：県民モニター2,192人
- (2) 調査期間：令和2年7月7日(火)
～7月21日(火)[15日間]
- (3) 調査方法：県ホームページ上の
アンケートフォームに入力
- (4) 回答者数：1,732人(回答率79.0%)

		対象者	回答者	回答率
総数		2,192	1,732	79.0%
性別	男性	1,028	838	81.5%
	女性	1,164	894	76.8%
年代別	10～20代	83	62	74.7%
	30代	227	158	69.6%
	40代	403	316	78.4%
	50代	470	376	80.0%
	60代	462	410	88.7%
	70代以上	547	410	75.0%

2 調査結果の概要



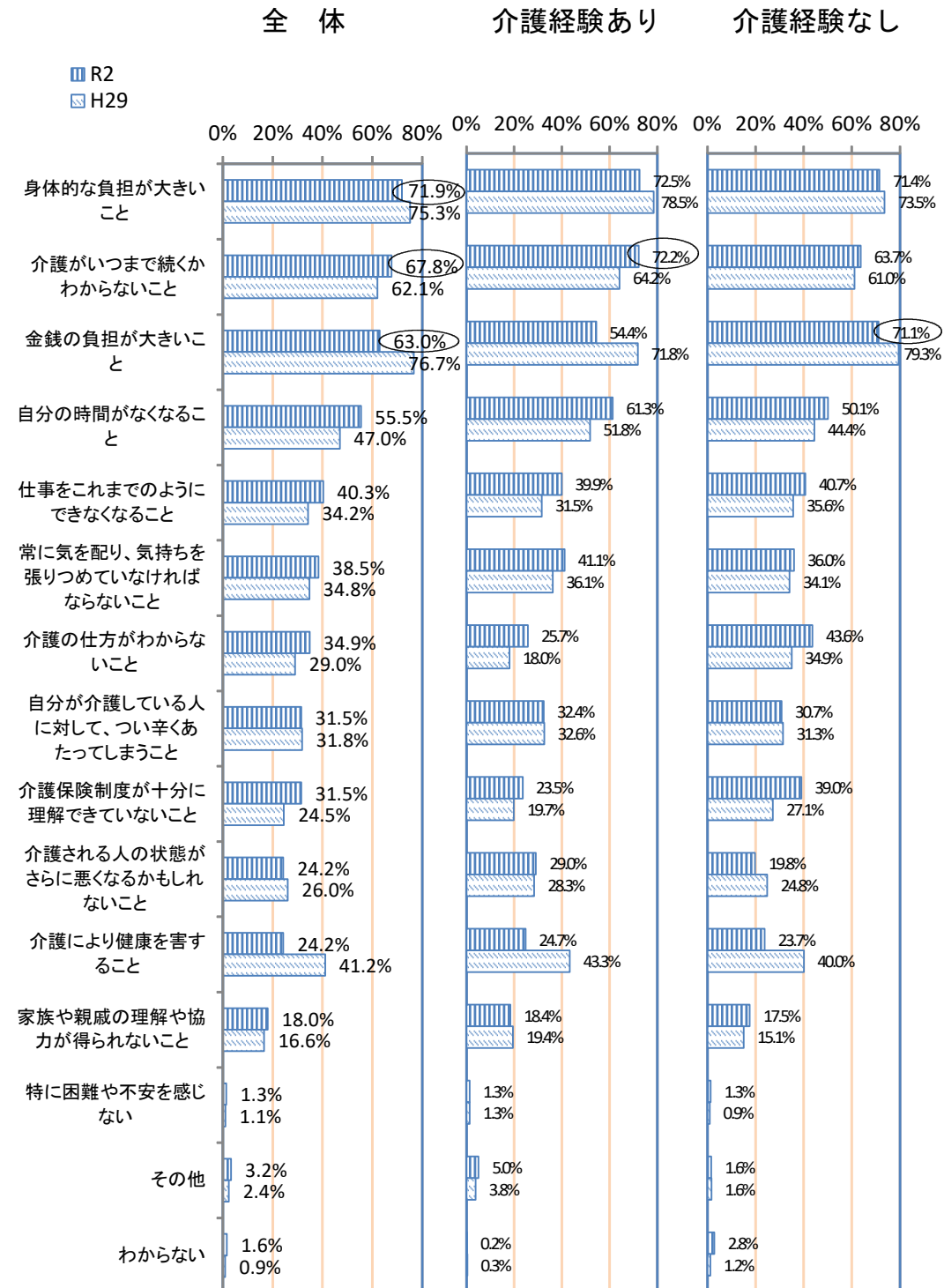
介護で不安に感じるこ
と

[Q2] (いくつでも
選択可)

あなたが介護に
ついて困難や不安
を感じることは何
ですか。

「身体的な負担が大きいこと(71.9%)」が最も多く、次いで「介護がいつまで続くかわからないこと(67.8%)」。前回1位の「金銭の負担が大きいこと」は、今回13.7ポイント減少の63.0%で3位となった。

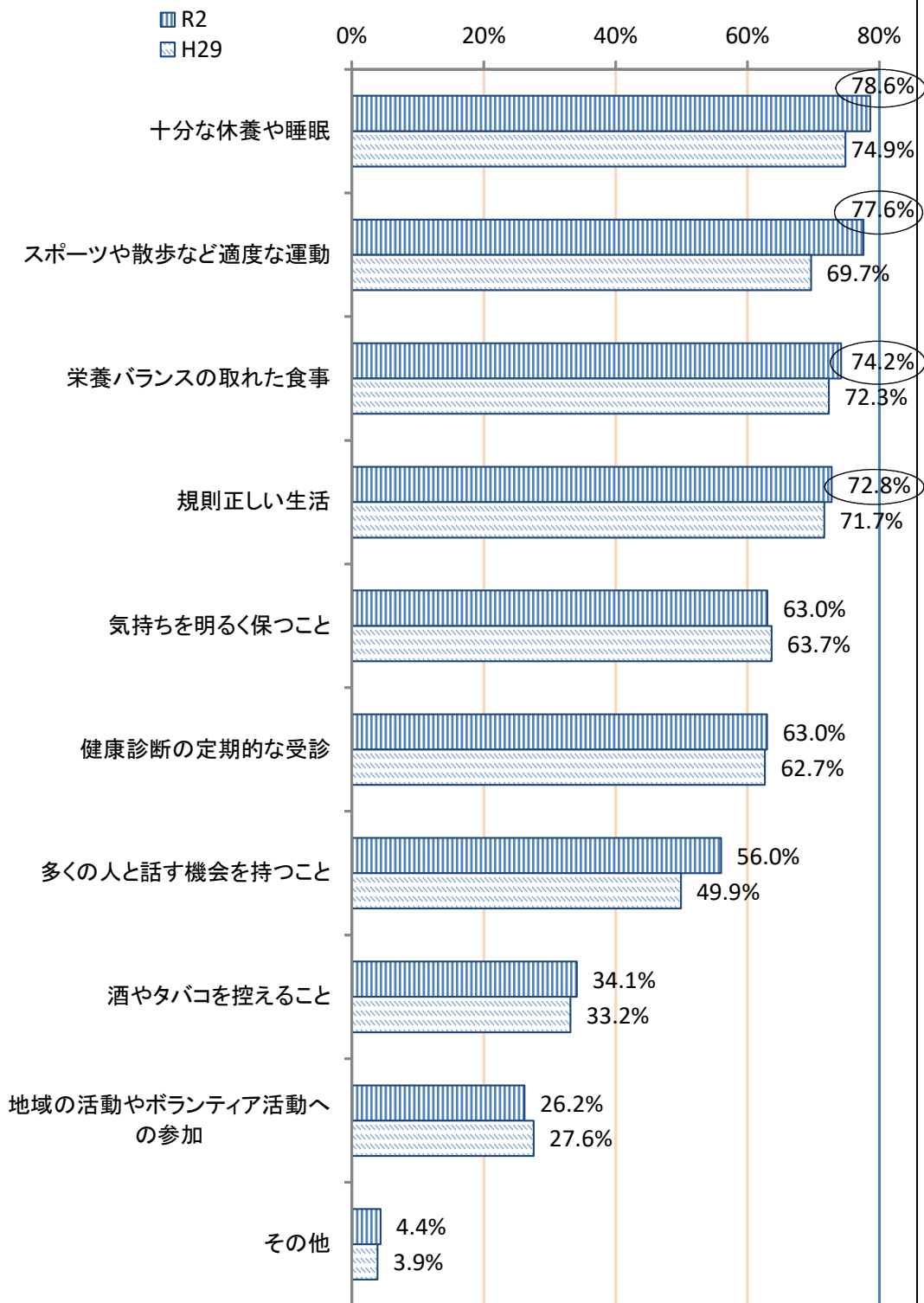
「介護がいつまで続くかわからないこと」は介護経験ありの方が多く、「金銭の負担が大きいこと」は介護経験なしの方が多。



介護が必要な状態にならないため
に大切だと思うこと

【Q3】(いくつでも選択可)
あなたご自身が健康を維持し、
介護が必要な状態にならないため
に大切だと思うことは何ですか。

「十分な休養や睡眠(78.6%)」が前回と同様に最も多く、前回第4位の「スポーツや散歩などの適度な運動」が7.9ポイント増の77.6%で第2位、以下、「栄養バランスのとれた食事(74.2%)」、「規則正しい生活(72.8%)」となった。



自分自身や
家族に望む
介護

[Q4] (1つ選択)

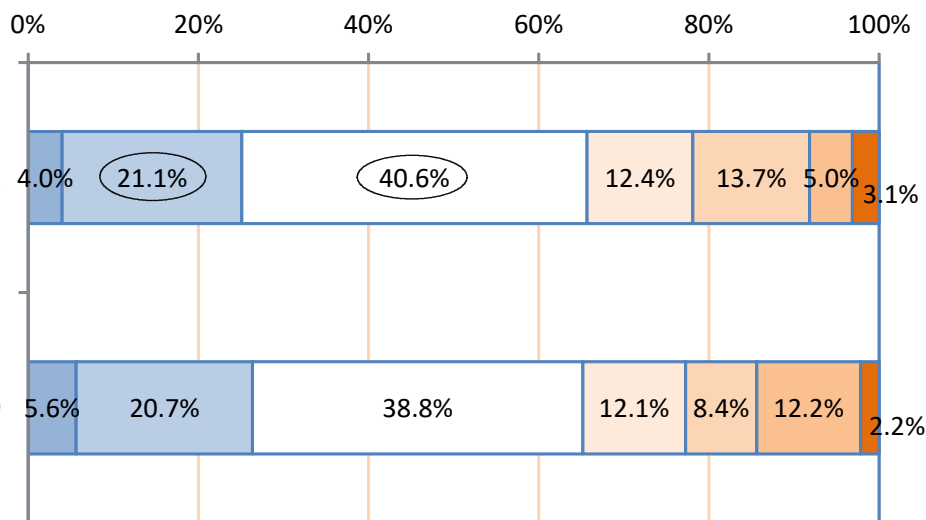
あなたご自身が
介護の必要な状態

となった場合、ど
のような介護を望
みますか。

自分自身が望むのは、「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅での介護(40.6%)」が最も多く、続いて「自宅での家族と外部の介護サービスによる介護(21.1%)」となった。一方、家族に対する介護では、後者(43.4%)が最も多く、次いで前者(21.9%)となっており、前回と同様、自分と家族とでは傾向が異なる。

自分

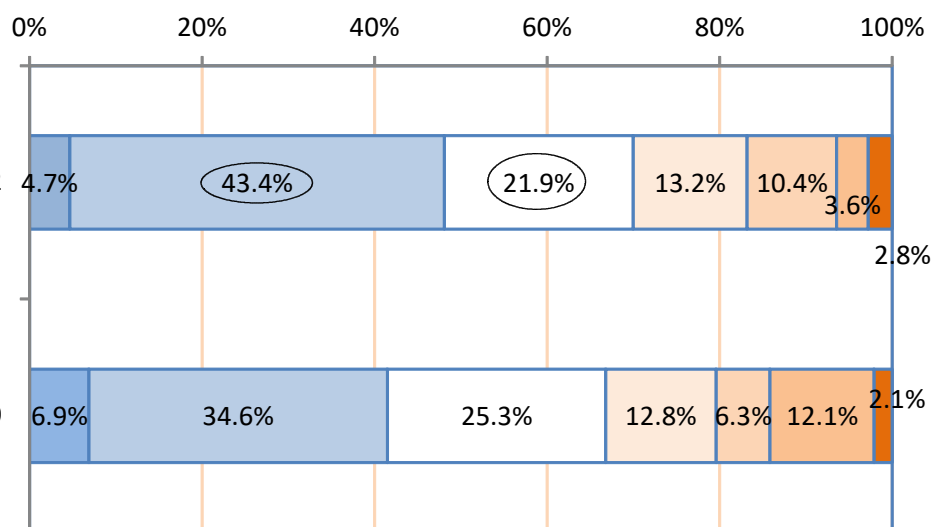
自宅での家族による介護	自宅での家族と外部の介護サービスによる介護	家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅での介護	特別養護老人ホームなどの施設での介護	有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅に住み替えての介護	医療機関への入院による介護	その他



[Q4-2] (1つ選択)

あなたのご家族
が介護の必要な状
態となった場合、
どのように介護を
したいですか。

家族

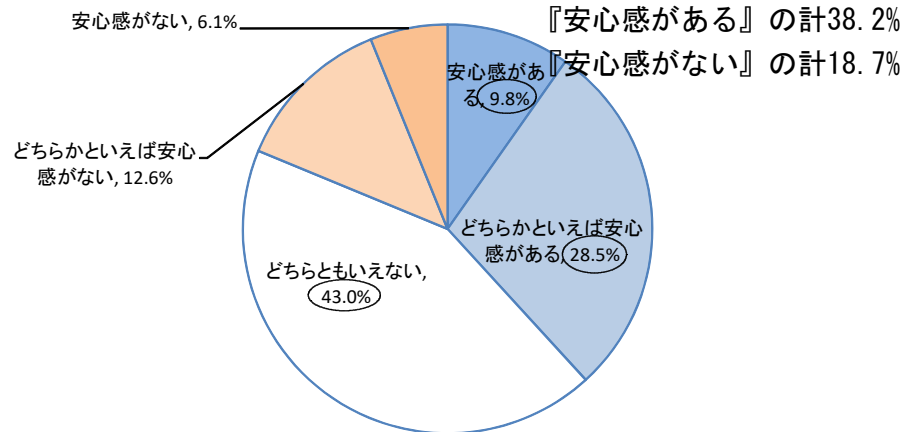


住んでいる地域での介護の安心感
 [Q5] (1つ選択)
 あなた又はご家族が介護が必要になった場合、お住まいの地域で生活していくことについて、安心感がありますか。

「どちらともいえない(43.0%)」が最も多い。「安心感がある」「どちらかといえば安心感がある」を合わせた『安心感がある』の合計は38.2%で『安心感がない』の合計18.7%との2倍となっている。

『安心感がある』の合計について、地域別では、各地域とも概ね3～4割となっている。属性別では、女性(34.6%)より男性(42.2%)、介護経験なし(34.5%)より介護経験あり(42.1%)の方が高くなっている。

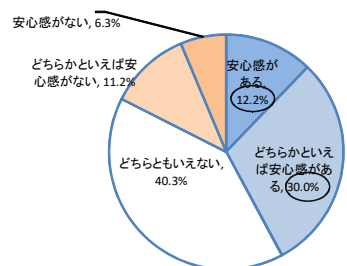
全体



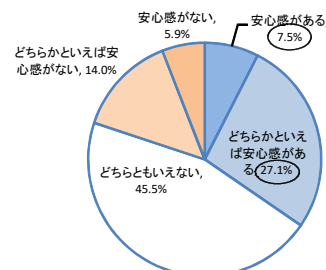
地域別 (「安心感がある」「どちらかといえば安心感がある」の計)

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
⑤	①	⑦	③	⑥	⑦	④	⑦	⑩	②
38.5%	40.8%	35.7%	39.3%	36.8%	35.7%	38.7%	35.7%	32.3%	40.5%

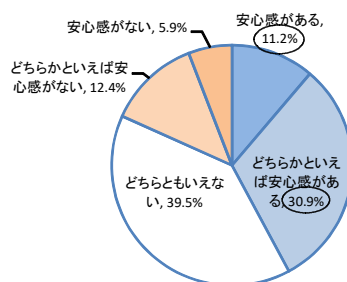
男性



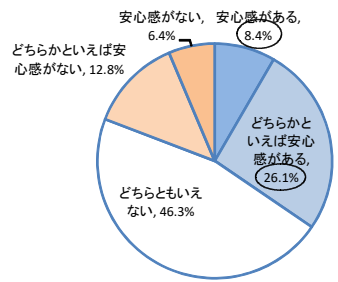
女性



介護経験あり



介護経験なし



介護保険料とサービス水準

[Q6] (1つ選択)

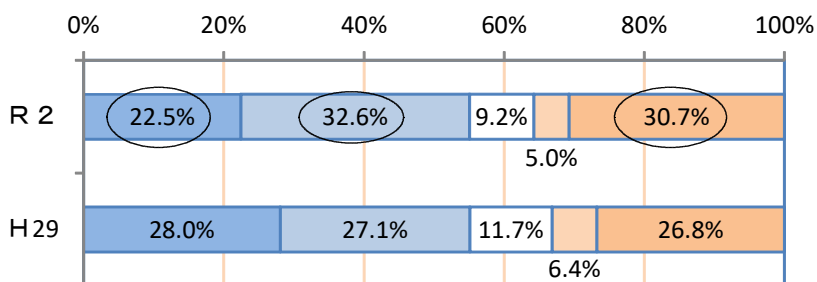
介護保険料とサービス水準のあり方について、当てはまるものを選んでください。

「保険料も介護サービスも現状程度でよい(32.6%)」が前回より5.5ポイント増加して最も多くなり、前回最多だった「保険料が高くなってもいいから、介護サービスを充実してほしい(22.5%)」を上回っている。「介護経験あり」でその傾向は大きくなっている。

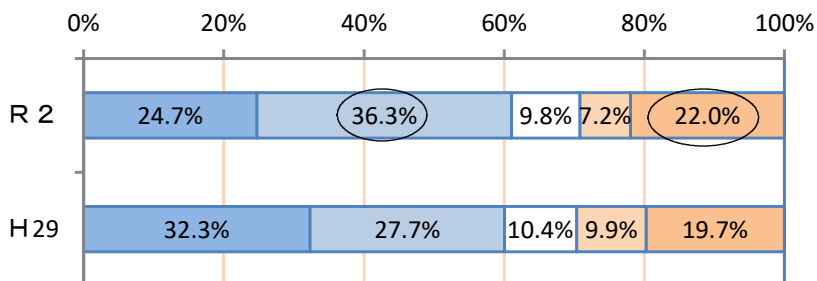
「わからない」は3割を占めているが、「介護経験なし(38.9%)」では4割程度と、「介護経験あり(22.0%)」を大きく上回っている。

保険料が高くなっていいから、介護サービスを充実してほしい	保険料も介護サービスも現状程度でよい	介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい	その他	わからない

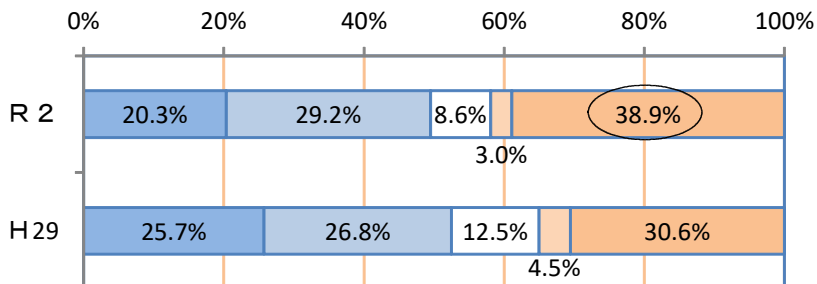
全体



介護経験あり



介護経験なし

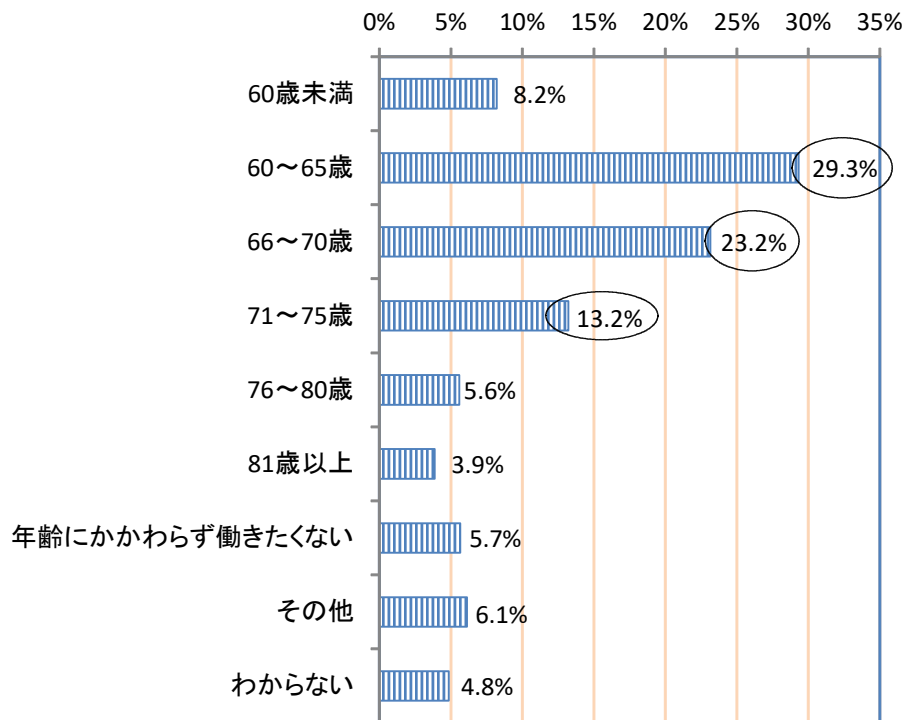


働きたいと思
う上限年齢

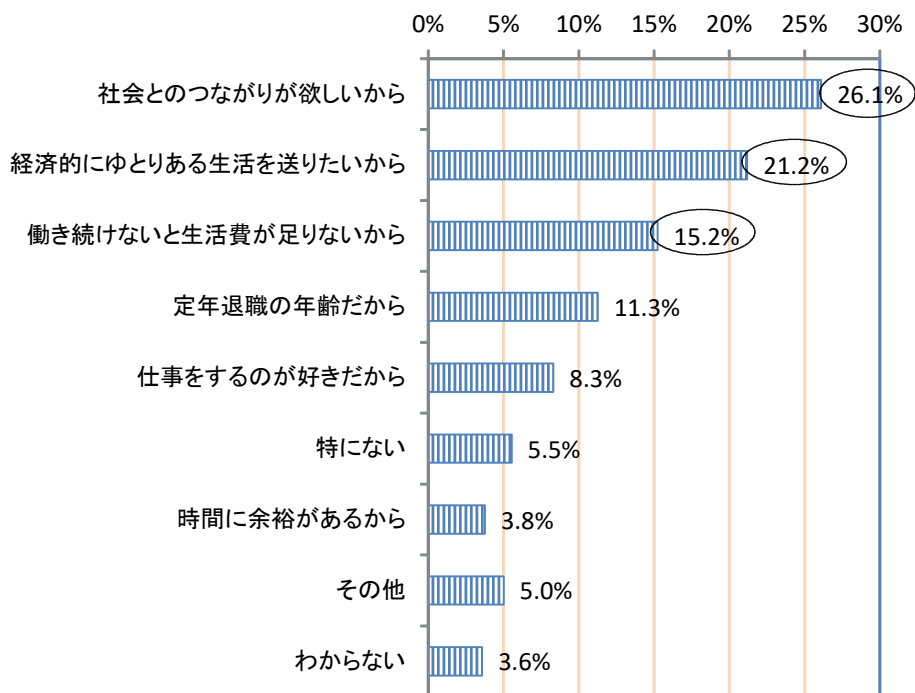
[Q7] (1つ選択)
高齢化が進展す
るなか、労働力の
不足が懸念されて
います。あなたご
自身は何歳まで働
きたいですか。

「60～65歳(29.3%)」が最も多く、次いで「66～70歳(23.2%)」、「71歳～75歳(13.2%)」となった。

その年齢まで働きたい(働いていた)理由は「社会とのつながりが欲しいから(26.1%)」が最も多く、次いで「経済的にゆとりある生活を送りたいから(21.2%)」「働き続けないと生活費が足りないから(15.2%)」となった。



[Q7-2] (1つ選択)
その年齢まで働
きたい(働いてい
た)理由は何です
か。

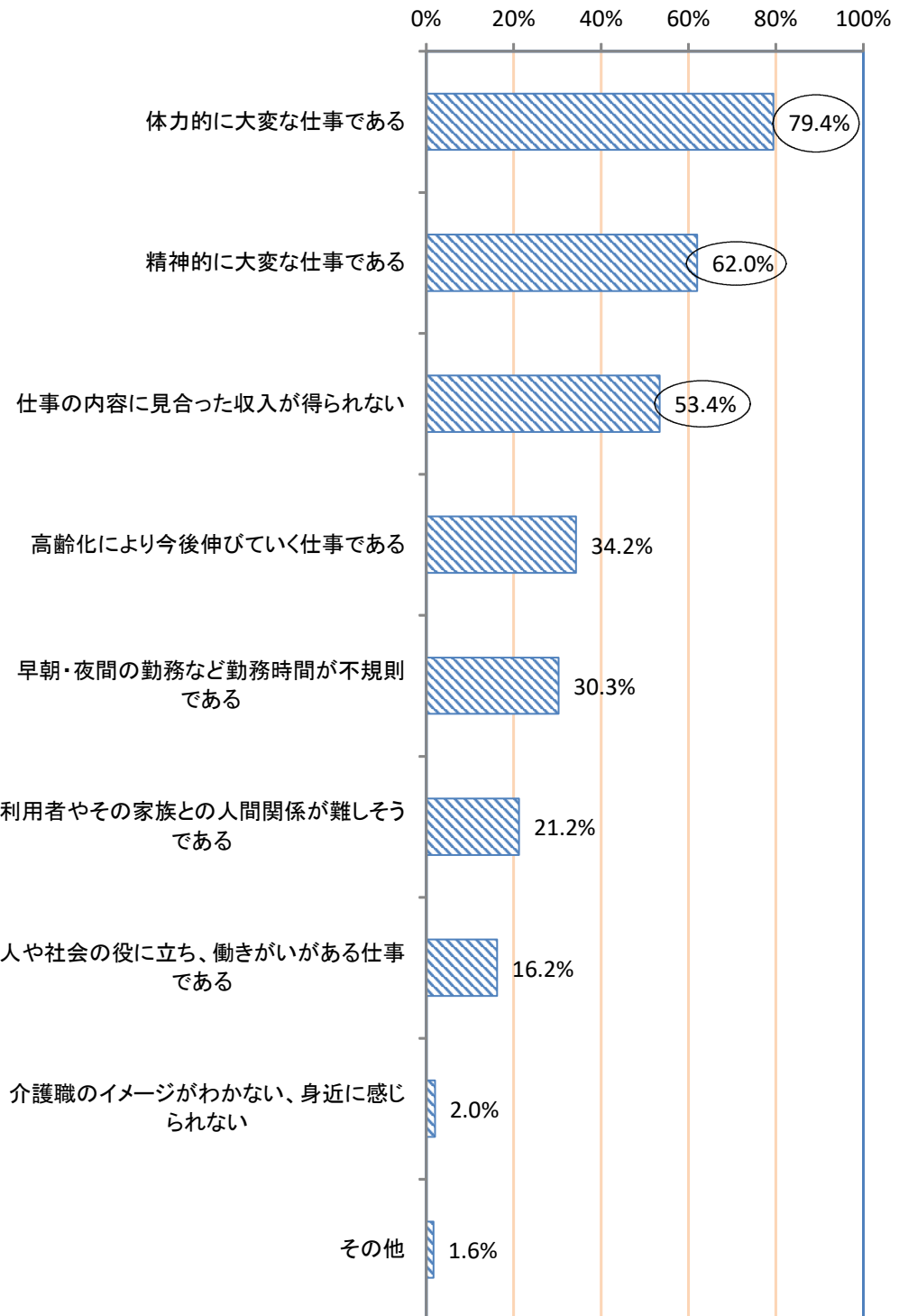


介護の仕事へのイメージ

[Q8] (3つまで選択)

あなたは介護の仕事に対して、どのようなイメージをお持ちですか。

「体力的に大変な仕事である(79.4%)」が最も多く、次いで「精神的に大変な仕事である(62.0%)」「仕事の内容に見合った収入が得られない(53.4%)」となった。



地域で自分らしく暮らしていくための活動 [Q9] (いくつでも選択可)

お住まいの地域に、普段から高齢者や地域住民が集まって活動している団体や行事等がありますか。

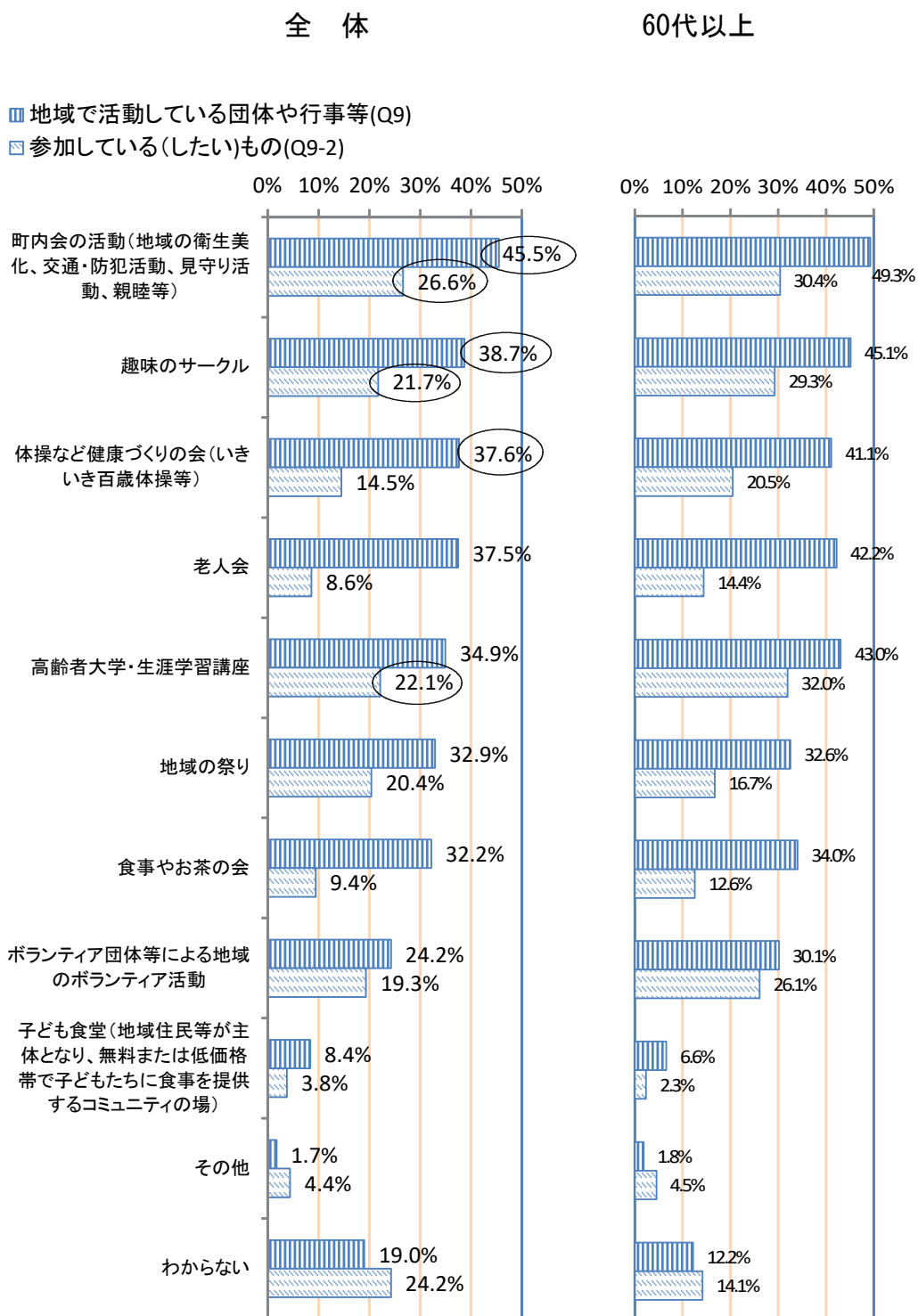
[Q9-2] (いくつでも選択可)

お住まいの地域に、普段から高齢者や地域住民が集まっている活動や団体の中に、あなたが参加している(今後参加したいと考えている場合を含む)ものはありますか。

活動している団体や行事等は「町内会の活動(45.5%)」が最も多く、次いで「趣味のサークル(38.7%)」「体操など健康づくりの会(37.6%)」「老人会(37.5%)」となった。

参加している(したい)ものについては、「町内会の活動(26.6%)」が最も多く、続いて「高齢者大学・生涯学習講座(22.1%)」「趣味のサークル(21.7%)」となった。

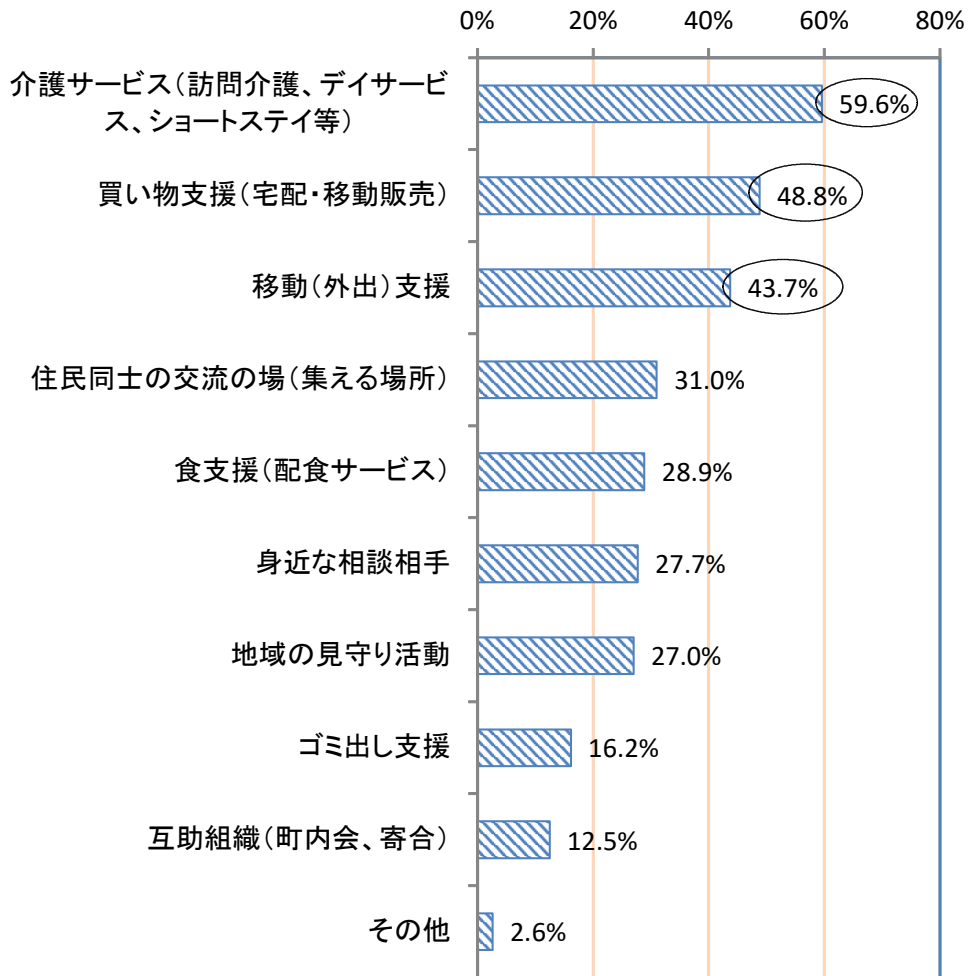
60代以上では、認知度、参加度ともに全世代平均より概ね高くなっている。



高齢者が地域で自立して暮らすために必要な支援

[Q10] (3つまで)
お住まいの地域で高齢者が自立して暮らすために必要な支援は何だと思いますか。

「介護サービス（訪問介護、デイサービス、ショートステイ等）（59.6%）」が最も多く、次いで「買い物支援（宅配・移動販売）（48.8%）」「移動（外出）支援（43.7%）」となった。



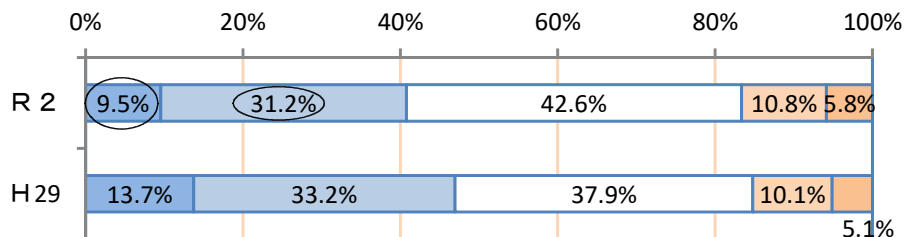
高齢者の支え合い活動への参加希望

〔Q11〕(1つ選択)
 買い物の代行や移動の手助けといった高齢者の生活支援など、地域の支え合い活動に担い手として参加したいですか。

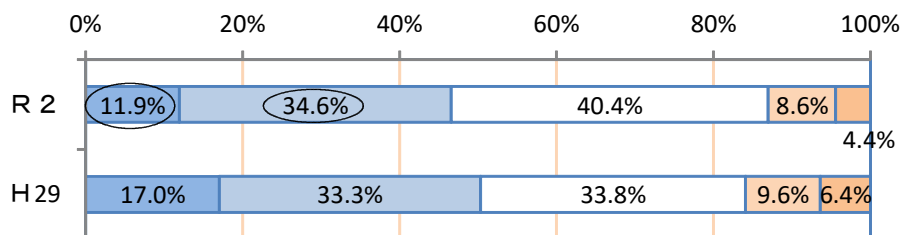
「参加したい(9.5%)」と「どちらかといえば参加したい(31.2%)」を合わせた『参加したい』の合計は40.7%と、前回46.9%を下回っている。介護経験のある人は46.5%で、介護経験なし(35.3%)を10ポイント上回っている。

全体

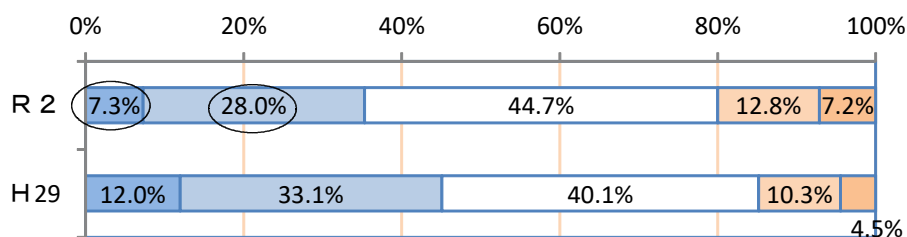
参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらともいえない	どちらかといえば参加したくない	参加したくない



介護経験あり



介護経験なし



人生の最終
段階の過ごし方

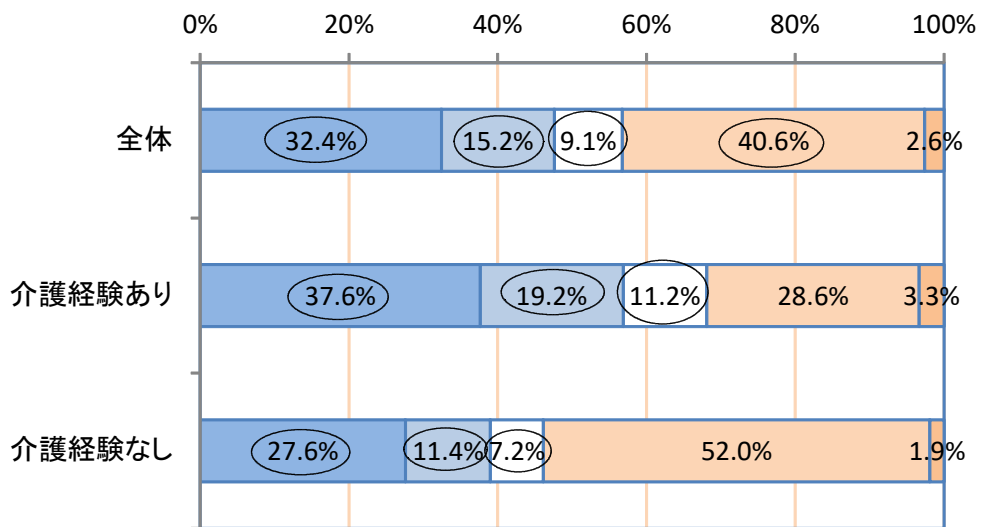
[Q12] (1つ選択)

県では可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるような支援体制づくりを推進していますが、あなたは人生の最終段階の過ごし方について考えたり、行動したりしていますか。

過ごし方を、「自分で考えている(32.4%)」や「家族と話し合っている(15.2%)」など意識している人は56.7%、一方、「何もして(考えて)いない(40.6%)」人も4割を占めている。意識している人は、介護経験ありで68.0%と介護経験なし(46.2%)を大きく上回っている。

過ごしたい場所については「自宅」が5割(50.2%)を占めている。

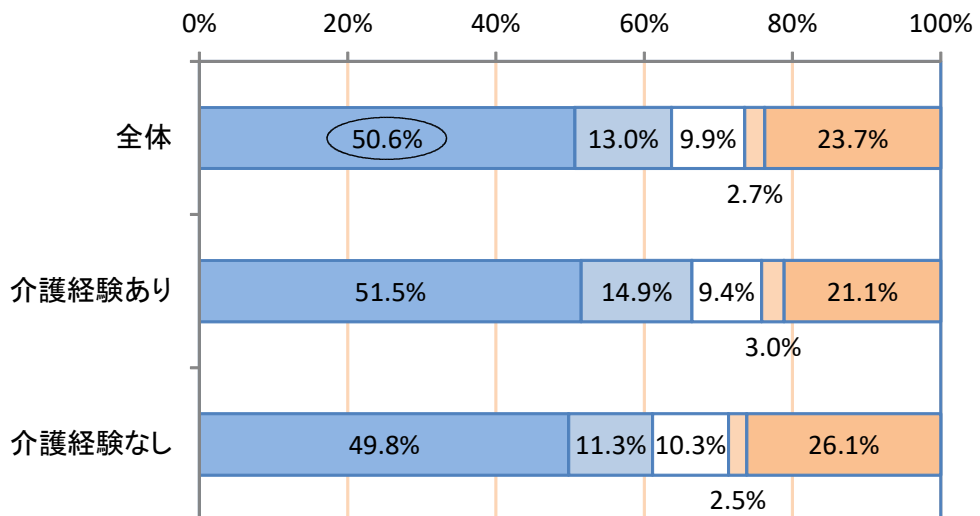
人生の最終段階の過ごし方について自分で考えている	人生の最終段階の過ごし方について家族と話し合っている	人生の最終段階の過ごし方について自分で考え、終活(最後まで自分らしい人生を送るための準備)をしている	特に何もしていない(考えたことがない)	その他
32.4%	15.2%	9.1%	40.6%	2.6%



[Q12-2] (1つ選択)

あなたは、人生の最終段階をどこで過ごしたいですか。

自宅	介護施設	医療機関	その他	わからない
50.6%	13.0%	9.9%	23.7%	2.7%



【 問い合わせ先 】

企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)